

2026.2

Vol.97



群馬県高山村議会

Vill-Takayama Council NEWS

# TsuNaGu

議 会 広 報 つ な ぐ



キラリ  
輝く **むらびと**  
15ページ

## Focus\_01

特集  
請願・陳情ってなに？

## Focus\_02

第4回 定例会  
質疑 PICKUP！

## Focus\_03

村長にきてんべえ！  
6名が一般質問



特集

# 村議会ってなに？

今回の  
テーマ

## 請願 陳情 って？

### みんなの声を議会に届ける手紙だよ



さくら

ねえ、先生から陳情書と請願書って言葉を聞いたんだけど、どんなものかよくわからないよ

いい質問だね！どちらも村や町をよくしたい！って思いを議会に伝える「お願いの紙」だよ



みらい

つまり みんなの声を届ける手紙みたいなものなんだ

ただね「どう届けるか」の方法がちょっとだけちがうんだ！



ひゅうが



るい

### 陳情書と請願書、どちらがう？



一番大きな違いは議員さんの紹介が必要かどうかだよ  
陳情書 → 紹介はいらない、誰でも自由に出せる  
請願書 → 議員さんの紹介が必要  
議員さんに「このお願い、議会に出します」って協力してもらう

へえ、じゃあ請願書は仲間がいないと出せないんだね



そう、だから請願書はちょっと正式なお願いになるんだよ



3 へつづく

学校でいうと？



学校で言うなら――

・陳情書は

→ さくら がひとりで先生にお願いする

・請願書は

→ さくら が学級委員や友だちに応援してもらって、  
みんなで先生にお願いする



みんなでお願ひするほうが、  
お願いが通りやすいって感じ



## まとめ どちらも大事！

陳情書は気軽に、みんなの声を伝える手段

請願書は、議員さんやみんなの後ろ盾があって、  
より正式で強力なお願い

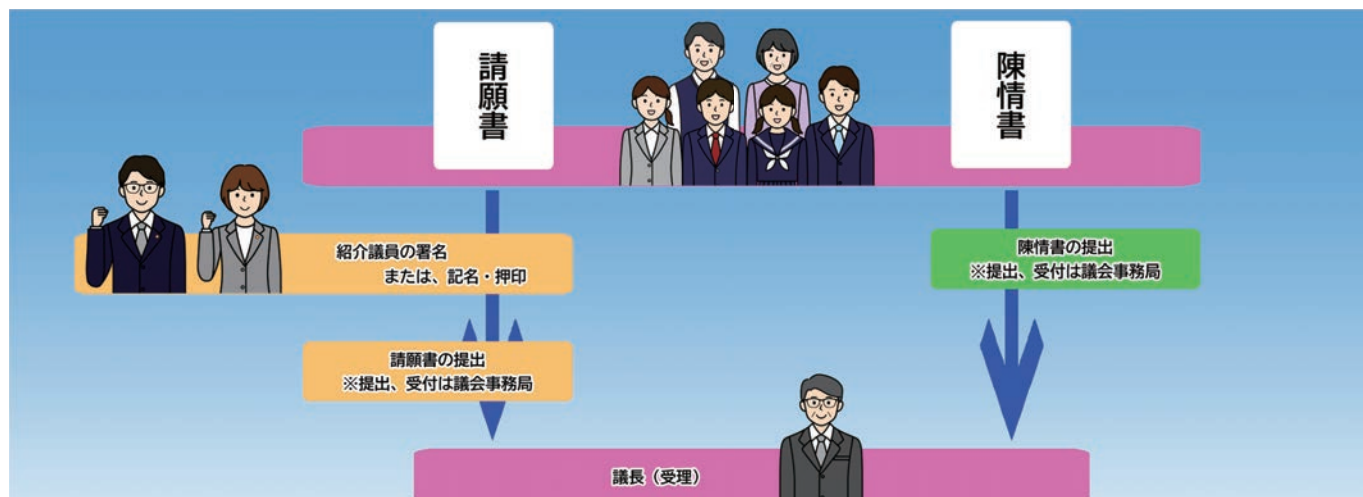
どっちも 村や町をよくするための大切な方法だよ！

わかった！

将来 わたしも地域のためにお願いしてみたいな！



請願書・陳情書の提出のしかたは、高山村議会のホームページにあります

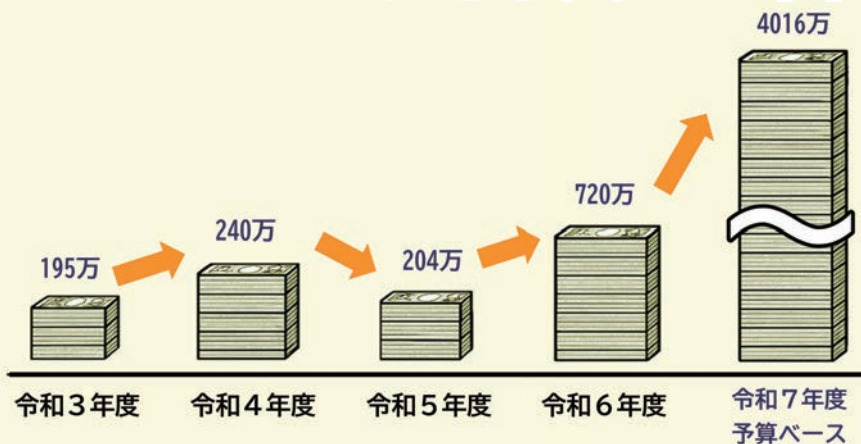


## 令和7年 第4回 定例会

# 確かな運用により 基金運用額の増

右の図は、令和3年度から6年度までの基金運用（利子及び配当金等）決算収入金額、令和7年度は予算ベースの金額となります。

【本会議質疑で詳しく→6ページ】



令和7年第4回定例会は12月3日から9日までの7日間の日程で開催されました。提出された議案は全て「可決」されました。

### 12月3日（水）

午前10時開会

定例会初日に可決された議案、報告は次のとおりです。

午前中の本会議休憩中、全議員で議案調査（審査）を実施しました。

午後1時30分から一般質問 6名が登壇しました。

本会議散会后、全議員で議案調査（審査）を実施しました。

## 委員会報告

◇視察報告（農林建設常任委員会）

【→委員会報告でくわしく（7頁）】

## その他（一部事務組合等）

可決

議案第51号	◇一部事務組合の規約変更に関する協議
議案第52号	◇一部事務組合の災害弔慰金の支給等に関する協議
議案第53号	◇市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議

### 12月4日（木）

全議員で議案調査（審査）を実施しました。

終了後、議会広報特別編集委員会を実施しました。

### 12月5日（金）

### ～8日（月）

個別に議案調査を実施しました。

12月9日(火)

午前10時開会

定例会最終日に可決された議案は次のとおりです。

## 条 例

可決

議案第 54 号	◇乳児等通園支援事業の設備運営基準を定める条例の制定
議案第 55 号	◇特定乳児等通園支援事業の運営基準を定める条例の制定
議案第 56 号	◇保育所の設置及び管理の条例の一部改正
議案第 57 号	◇旅費支給条例の全部改正
議案第 58 号	◇議会議員及び村長の選挙における選挙運動の公費負担条例の一部改正
議案第 59 号	◇議会議員報酬及び費用弁償等の条例の一部改正
議案第 60 号	◇特別職の職員給与等の条例の一部改正
議案第 61 号	◇職員給与に関する条例の一部改正
議案第 62 号	◇会計年度任用職員給与及び費用弁償の条例の一部改正
議案第 63 号	◇村長等の損害賠償責任の一部免責条例の一部改正
議案第 64 号	◇福祉医療費支給条例の一部改正

## 補正予算

可決

議案第 65 号	◇令和 7 年度 一般会計補正予算（第 4 号） 補正額 + 1 億 2021 万 9000 円 予算総額 35 億 8079 万 3000 円 【→本会議質疑で詳しく（6 頁）】
議案第 66 号	◇令和 7 年度 国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号） 補正額 + 185 万 7000 円 予算総額 4 億 9744 万 8000 円
議案第 67 号	◇令和 7 年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号） 補正額 + 106 万 1000 円 予算総額 6862 万 3000 円
議案第 68 号	◇令和 7 年度 令和 7 年度 介護保険特別会計補正予算（第 3 号） 補正額 + 1289 万円 予算総額 5 億 1381 万 7000 円
議案第 69 号	◇令和 7 年度 土地開発事業特別会計補正予算（第 2 号） 補正額 + 1000 円 予算総額 1 億 1341 万円
議案第 70 号	◇令和 7 年度 農業用水事業特別会計補正予算（第 2 号） 補正額 + 347 万 4000 円 予算総額 1 億 696 万 1000 円
議案第 71 号	◇令和 7 年度 簡易水道事業会計補正予算（第 1 号） 収益的収入では、企業会計処理に伴う予算上の減額、収益的支出では修繕料と給水車出動による燃料費増額、職員給与費の増額による補正です。 【→本会議質疑で詳しく（7 頁）】
議案第 72 号	◇令和 7 年度 水をきれいにする事業会計補正予算（第 1 号） 収益的収入では、簡易水道事業と同様に企業会計処理に伴う予算上の減額、収益的支出では、東地区処理場の漏水調査における委託料増額による補正です。

※簡易水道事業及び水をきれいにする事業は公営企業会計を適用しているため、一般会計や他の特別会計のような官庁会計（単式簿記、歳入=歳出）ではなく、民間企業同様の企業会計（複式簿記、歳入≠歳出）のため、補正額の記載がありません。

特 集

定例会

一般質問

委員会

議会の動き

むらびと



# 本会議 質疑



## ◆令和7年度 一般会計補正予算

### 利子及び配当金の増額の主な要因は？

**渡邊裕治** 歳入における利子及び配当金、増額の主な要因について伺う。

**税務会計課長** 日銀のゼロ金利政策やマイナス金利政策が解除され、各種金利が大幅に上昇した。定期預金から利率の高い既発債へ変更を進めたために増額となった。

額面より安く購入できるアンダーパーと言われる差額分を初年度に利子として計上している関係上、特に多くなっている。

**渡邊裕治** 財政調整基金等の資金運用にあたって留意している点は。

**税務会計課長** 村基金条例の中で「基金に属する現金は、金融機関への預金その他、最も確実、かつ、有利な方法により保管しなければならない。」と定めており、安全な投資方法を第一としている。

具体的には金融機関の定期預金と公募公債といわれる国債、都道府県債、政府保証債、財投機関債などの債券などに限って投資をし、リスクの高い債券は対象としていない。

基金繰り入れに影響の無いよう、執行部内で協議の上、慎重に投資額を決定している。

### 公用車における NHK 受信料 過去に遡って払うのか？

**山口英司** 多くの自治体で公用車に搭載されたカーナビの NHK 受信料未払いが相次いで発覚した。受信料を過去に遡って払うかを含め、161万2000円の説明を。

**総務課長** 認識不足によるものと反省しお詫び申し上げます。

現在、村が保有する TV チューナー付きのカーナビを設置している車両は11台で、当該車両を取得した時点からの NHK 受信料を全額払わねばならない可能性が極めて高いため、未納の早期解消を図りたいと考えている。

今後は、当該車両をカーナビ機能のみにするためアンテナを取り外したいと考えている。また、車両を新たに購入する場合には、TV チューナーのついてないカーナビを設置したいと思っている。

**山口英司** 個人の場合は受信契約があれば自家用車の追加契約は不要だが、公用車は1台ごとに契約が必要ということを、多くの人や自治体は認識が不足していたように思う。

本件の対応はやむを得ないが、今後はより適正な事務対応に取り組んでいただきたい。

### いぶきの湯は今後どうするのか？

**飯塚武久** 今回、汲み上げポンプが故障し緊急的に修繕工事を行ったが、ポンプ以外の施設も老朽化が激しく、また建設当時とニーズも変化してきていると思う。早急にその在り方について検討していく必要があるのでは。

**地域振興課長** 本施設はふれあいプラザの源泉にもなっていることから、ふれあいプラザの施設と併せて検討する必要があり、両施設の改修・建て替え等には大きな財政負担を伴う。このことから、施設の在り方について慎重かつ総合的に検討していきたい。

**飯塚武久** 現状や将来の見通しをしっかりと検証し、あらゆるケースを想定してその在り方を検討してもらいたい。





## 判形第二水源ポンプ故障、その後は？

後藤肇 判形第二水源の深井戸ポンプの故障の具体的対応について伺いたい。

建設課長 令和7年6月19日に、深井戸ポンプが故障した。その後、既存のポンプを移設して現在は順調に稼働している。判形地区については給水人口が多いので、今後、故障すると大きな影響が出る。現在ポンプ以外の手法も検討中である。村内全体の水道施設の老朽化の対応は、今後、調査を進めた上で計画的に実施していきたい。



## 本会議での議案採決結果について

全会一致で可決したものについて、議員それぞれの賛否結果は掲載を省略します。賛否が分かれたもの（欠席者がいた場合は、その表記）についてのみ、各議員の賛否結果をお知らせしていきます。なお、人事議案については「無記名投票」のため、可否のみの掲載となります。

## 農林建設

委員会報告  
本会議 12月3日

## 農業の担い手確保を目指して先進地視察

農林建設常任委員会では11月10日に、課題となっている農業の担い手確保や耕作放棄地への対応を検討して行くため、先進地である高崎市及び藤岡市の現地を視察しました。

まず、高崎市吉井町多比良地区では農業者の高齢化や獣害により地区面積約11haのうち、約7割が耕作放棄地になっていた区域です。国庫補助事業を活用して、令和4年度から6年度に民間企業（ジャパンキウイ㈱）が事業主体となって農地整備を実施、耕作放棄地の解消と担い手の確保を実現していました。



続いて、視察した藤岡市保美地区は、耕作放棄地が拡大している中、同じく国庫補助事業を活用して、令和2年度から10年度までの予定で群馬県が事業主体となって約29haの農地整備を行っています。地区内農家7名と民間企業（㈱サイエンズ）が担い手となって、地域特産のトマト等高収益作物を導入した事例で、当該企業は地区内外において更に経営拡大を希望しているとのことでした。

両地区を視察して、担い手の確保や耕作放棄地対策として、農地整備や農業への企業参入が有効であることが確認出来ました。



# 村長にきいてんべえ！

## 一般質問

定例会において議員が行政全般にわたり村長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて、報告・説明を求めることをいいます。  
なお、効率的かつ充実した議会運営を行うため、通告することになっています。

- |    |                   |          |
|----|-------------------|----------|
| 01 | 地域活性化起業人・事業検証と成果は | 渡邊 裕治 議員 |
| 02 | 待ったなし、どうする農業の担い手  | 飯塚 武久 議員 |
| 03 | 行政区の再編はあるのか       | 松井 陽威 議員 |
| 04 | 認知度向上のためのグッズ開発を   | 平形 玉緒 議員 |
| 05 | 第五次総合計画の成果は       | 後藤 肇 議員  |
| 06 | 次期村政についての考え方は     | 山口 英司 議員 |

一般質問の質問・答弁全文は、議会ホームページの会議録からご覧いただけます。

01

地域活性化起業人・事業検証と成果は

### 【村長】 事業検証はしていない、今後検討する



渡邊 裕治 議員

〈議員〉 9月の決算質疑の中で、地域活性化起業人について伺った。その中で「専門的な見地で事業展開」を図ってきたとの答弁をいただいた。しかし、「事業検証・成果」が見えがたい部分があるのでは…と思う。活動成果をどのような指標で評価しているか、事業の検証・改善プロセスをどのように行っているかを伺う。

〈村長〉 今まで特段、指標での評価は行ってこなかった。また、事業の検証・改善プロセスも定期的な評価と柔軟な対応など求められているが、評価をしてこなかった。

他自治体を例に評価などを参考にし、関係者の協力とデータに基づいた意思決定が不可欠。そのことから効果的なものへと進化できるように検討して参りたい。

〈議員〉 公金を活用している以上、成果の検証、説明責任は不可欠である。村と振興公社が一体となって責任を果たしていないと言われても仕方ない。どの事業もデータ・数値化された成果・結果というものは指標になると考えられる。

また、地域活性化起業人の活用は、振興公社に対して投資額とみることもできる。今後、どのように「見える化」をしていくのか。

〈副村長〉 K P I（重要業績評価指標）など、今後検討を進めて参りたい。また、数値化が難しい地域コミュニティへの貢献なども適切に評価できるよう総合的な評価手法の導入についても合わせて検討して参りたい。





飯塚 武久 議員

## 02

## 待ったなし、どうする農業の担い手

## 【村長】協力隊員を担い手として育成したい

〈議員〉 5年後、10年後の農業の姿が見えない中で、農業の担い手を本気で確保していく必要があると思うが、本村における担い手の現状と、今後の担い手確保のための具体的な取り組みについて伺いたい。

〈村長〉 担い手の現状としては、村と県が認定する認定農業者が22経営体、また認定新規農業者が2経営体に限られている。5年後、10年後については担い手の確保が更に難しくなることが予想されるが、その対応として令和4年度から導入している就農型地域おこし協力隊制度を活用し、更なる担い手の確保に努めていきたい。

〈議員〉 協力隊制度の導入は非常に有効であると思う。加えて農業の企業参入等、いろんな観点から検

討してってもらいたい。なお、予算編成の時期になるが、本件に関して来年度新たに取り組む事業等はあるか。

〈村長〉 来年度については、就農型地域おこし協力隊の増員を図るため、新たに農業分野に特化した「地域おこし協力隊募集事業」を展開したい。具体的には募集サイトの拡充や農業E X P Oへの出店など積極的に対応したい。また、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入支援の事業にも取り組みたい。

〈議員〉 村の考え方を地域の方や国・県・J A等関係者にしっかり伝え、関係者が一丸となって取り組んでほしい。

## 03

## 行政区の再編はあるのか

## 【村長】 今は考えていないが、時期がくれば

〈議員〉 人口減少等に伴う、行政区の見直し再編の可能性は。再編有りの場合、その腹案は。

〈村長〉 本村では、昭和33年10月に条例により13行政区を設置し、現在に至っており、当時の人口は約5,000人であったが、現在は約3,200人と大きく減少している。

行政区の運営上、特に小規模行政区では、様々な問題が顕在化してきていることは認識しているが、今のところ、行政区から統廃合を求める意見はない。

しかし、その時期が来れば検討したいと考えている。

〈議員〉 本村の人口は、10年後には3,000人を割り込むという予想であり、特に、尻高地区では切実である。

私の住んでいる11区では、6年前に公民館を建て替えたが、村や地区の諸行事の廃止・縮小と人口減が相まって使用頻度が激減状態にある。おりしも、選挙投票所、消防小屋等統廃合され、小・中学校の義務教育学校化の検討開始等々、行政区の再編検討時期ではないか？

〈村長〉 近い将来、行政区の在り方について検討する時期が来たら、関係者等と十分に協議を進める所存である。



松井 陽威 議員



高山村・13行政区



平形 玉緒 議員

04

認知度向上のためのグッズ開発を

【村長】

早急に開発する

〈議員〉 本村高山村は飛騨高山や信州高山に比べ知名度が低い。PR用グッズを考える意思はあるか。

〈村長〉 現在、缶バッジやクリアファイルなどがあり、令和7年度にはモンベルとフレンドシップ契約を結びモンベルのロゴの入ったクリアボトルやサーモタンブラーなどを発売している。それらの在庫状況を確認しながら新しいグッズについては考えていきたい。

〈議員〉 モンベルのグッズが販売されていることなどは、ほとんどの村民に知られていない。

まずは、村民に周知することを最優先されたい。

また、高山村に伝わる「添うが森」の縁結び伝説と「星に願いを託せる」天文台という村の特徴を組み合わせ「恋愛成就」「願いが叶う村」としてブラ

ンド化し、観光・導線整備、ストーリー作り、イベント化、そして「星に願いをリング」を提案したい。高山きゅうりのGI登録に合わせた「根付きぬいぐるみ」グッズ開発や「カプセルトイ」の導入もお願いしたい。

〈村長〉 担当課に指示し、早急に開発する。



議員のグッズ案イメージ

05

第五次総合計画の成果は

【村長】

3つの成果



後藤 肇 議員

〈議員〉 第五次総合計画で村長としてどの点に重点をおいて進めてきたか、成果と反省を説明いただきたい。

〈村長〉 第五次高山村総合計画は平成26年に策定し、10カ年を目標年次として進めてきた。

主な成果としてあげられるポジティブな部分としては、まずひとつに、まち・ひと・しごと創成への取組強化として地方創生と総合計画を連動させ、村民主体の村づくりを進めたこと、また、KPI（重要業績評価指数）を使って計画と実績を検証する枠組みが導入されて、PCDAサイクルを意識して行えたこと。

2つめとして、公共施設、インフラの管理強化として、公共施設等総合管理計画（インフラ長寿命化など）と整合しながら、施設の維持、更新を計画的

に進める方針を明らかに出来たこと。

3つめとして、総合計画をふまえ「たかやま5つのゼロ宣言」など、温室効果ガスゼロなどを目指す宣言をし、それに向けた施策を行ってきたなどが挙げられる。





山口 英司 議員

06

次期村政についての考えは

## 【村長】12年間の行財政運営に終止符を打つ

〈議員〉 後藤村長は、令和8年3月30日をもって3期目の任期が満了になる。

村長の掲げる「笑顔で輝く高山村」づくりの成果について、どのように捉えているか伺う。

次に、現在高山村は役場庁舎整備、義務教育学校、五領下の宿団地分譲、農業問題、人口減少対策、福祉政策等多くの問題・課題が待ち受けている。

次期村政の舵取りについての考え方を併せて伺いたい。

〈村長〉 3期目は、私たちを取り巻く社会変化に対し、力強く柔軟に村づくりを進めるため「笑顔で輝く高山村」を村の将来像と定め、様々な施策を展開して来た。

その間には、デジタル防災無線、テレビ無線共聴システム、未来センター「さとのわ」などの整備を

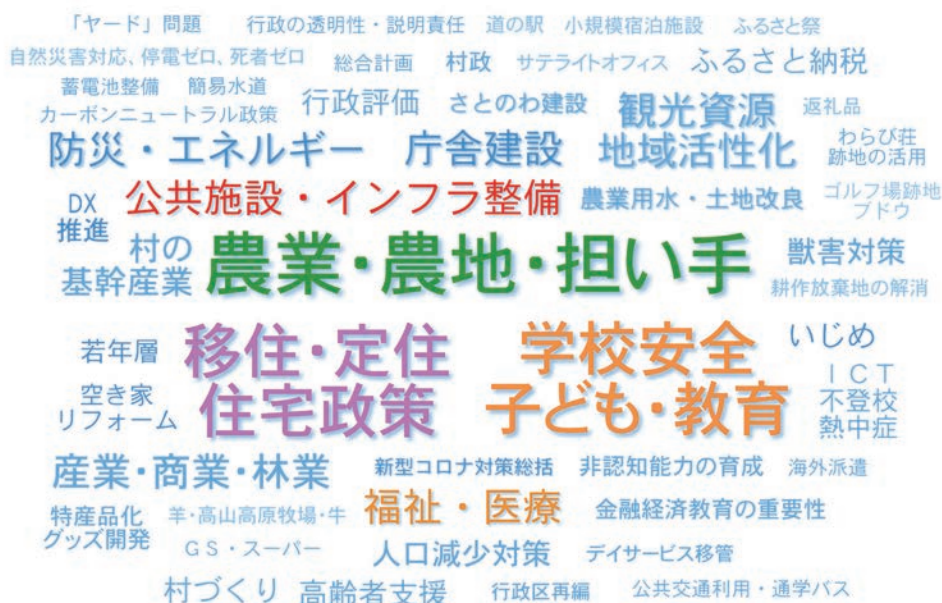
行ったほか、Aコープ高山店撤退に伴い、スーパーこいけ及びサンモールの誘致などもした。

また、たかやま5つのゼロ宣言、オーガニックビレッジ宣言をし、高山きゅうりのGI登録も果たした。3期目が終わるわけだが、これまで力不足の私に対し、村民をはじめ、議員各位には終始温かい目で応援をいただき、ご支援を賜ったことに対し感謝申し上げる。

次に、次期村政については、自らの能力、体調等を勘案する中で、今が身を引くべき時ではないかと決断し、村長として12年間の行財政運営に終止符を打ちたいと考えている。

また、後任については、新しい若い力にバトンを託し、未来に向けていつまでも住み続けたい持続可能な村づくりに邁進していただきたいと願う。

## ワードクラウド でみる「一般質問」テーマ



「令和5年第2回定例会」から「令和7年第4回定例会」までの一般質問の通告テーマ等をAIで分析しました。

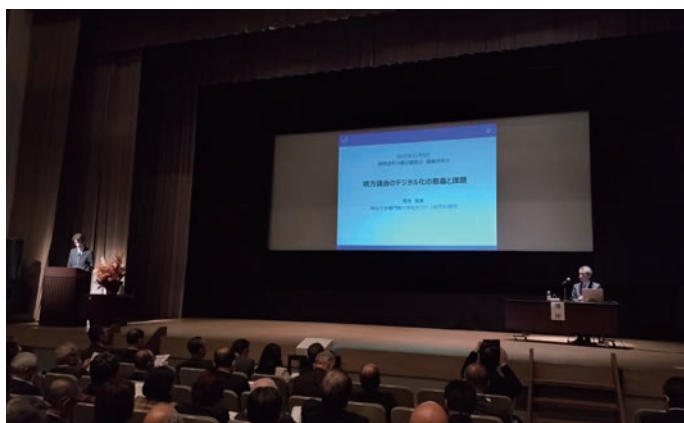
重要キーワード・テーマを一目で把握できるのが特徴です。色違いになっている項目が多く質問に取り上げられました。



## 議員研修

議会議員の資質向上のため、  
各種の研修へ参加しています。

### 令和7年度 群馬県町村議会研修会



11月5日（水）、玉村町文化センターにおいて群馬県町村議会議長会主催の議員研修会が開催されました。県内各町村の議会議員が一堂に集まり、講師にお招きした湯浅壺道氏と細川隆三氏による各講演に熱心に耳を傾けました。

【講演】『地方議会のデジタル化の意義と課題』

明治大学専門職大学院ガバナンス研究科 教授  
湯浅 壺道 氏

【講演】『時局展望』

政治ジャーナリスト 細川 隆三 氏

### 令和7年度 群馬県町村議会広報研究会

11月20日（木）、群馬県市町村会館で行われた群馬県町村議会広報研究会に、昨年に引き続き参加しました。

誌面レイアウトを一新してから約1年が経過し「議案質疑をピックアップ方式に移行」、「議員研修報告への各議員の所感掲載」など工夫や改善について、一定の評価をいただきました。

評価や助言を丁寧に精査し、今後の誌面づくりに反映させることで、より読みやすく、親しみやすい議会広報を目指してまいります。



### 地域おこし協力隊・懇談会



11月13日（木）、たかやま未来センターさとのわ・ラウンジにおいて、地域おこし協力隊との懇談会を開催しました。

当日は、昼食をとりながら和やかな雰囲気の中で意見交換を行い、隊員それぞれの活動状況や今後の取り組みについて話を伺いました。また、だんだん広場に展示されている活動報告パネルを見学し、隊員から説明を受けながら理解を深めました。

## 2025 年 10 月から 12 月までの 議会活動 をお知らせします

- 10 月 2 日 議会広報編集特別委員会
- 9 日 議会広報編集特別委員会
- 14 日 議会広報編集特別委員会
- 16 日 町村監査委員表彰式・全国研修会（東京都）
- 19 日 中之条町町政 70 周年・六合合併 15 周年記念式典（中之条町）
- 20 日 定例監査
- 21 日 議会広報編集特別委員会
- 24 日 全員協議会
- 26 日 高山村消防団秋期点検
- 28 日 千葉県睦沢町議会行政視察受け入れ
- 29 日 チャリティグラウンドゴルフ大会



消防団秋期点検



軽スポーツラリー



福祉まつりで挨拶する  
後藤明宏議長

- 11月 5 日 町村議会議員研修会（玉村町）
- 7 日 議長杯ゲートボール大会
- // 議会広報編集特別委員会
- // 県立高校のあり方に関する情報交換会（中之条町）
- 9 日 高山村軽スポーツラリー
- 10 日 農林建設常任委員会行政視察（高崎市・藤岡市）
- 12 日 全国議会議長全国大会（東京都）
- // 群馬県町村議会議長会臨時総会（東京都）
- // 県関係国会議員と町村議会議長との意見交換・懇談会（東京都）
- 13 日 議長杯グラウンドゴルフ大会
- // 地域おこし協力隊との意見交換会
- 14 日 上信自動車道建設促進期成同盟会要望・陳情（前橋市・長野市）
- 15 日 高山村福祉まつり
- 20 日 町村議会広報研究会（前橋市）
- 21 日 定例監査
- 23 日 尻高人形定期公演
- 25 日 議会運営委員会
- 27 日 吾妻広域町村圏振興整備組合議会（中之条町）
- 28 日 全員協議会
- // 議会広報編集特別委員会

- 12 月 3 日 令和 7 年第 4 回定例会①・本会議
- 4 日 議会広報編集特別委員会
- 5 日 生涯学習大会打ち合わせ会議
- 9 日 令和 7 年第 4 回定例会②・本会議
- 11 日 議会広報編集特別委員会
- 12 日 高山村商工会行政懇談会
- 15 日 みなかみ町議会「議会 D X 導入視察研修」受け入れ
- 17 日 定例監査
- 19 日 議会広報編集特別委員会
- 23 日 議会運営委員会
- 25 日 議会広報編集特別委員会
- 27 日 高山村消防団歳末夜警激励



みなかみ町議会  
議会 D X 導入視察研修

特集

定例会

一般質問

委員会

議会の動き

むらびと



# 議長杯



今年度の議長杯ゲートボール大会を11月7日に東地区スポーツ広場において、議長杯グラウンドゴルフ大会を11月13日に高山運動公園において、開催しました。



## ゲートボール



今年度の優勝は「原Bチーム」でした。  
結果は次の通りです。

優 勝 原Bチーム  
準優勝 きさらぎチーム  
第3位 新田Cチーム



## グラウンドゴルフ



総合優勝は、田村健二さん（本宿地区）でした。  
各部門の結果は次の通りです。

### 【男子の部】

優 勝 田村 健二さん  
準優勝 根津 一夫さん  
第3位 星野 廣さん

### 【女子の部】

優 勝 林 昌枝さん  
準優勝 都筑 昭子さん  
第3位 田村 久子さん



集計の間に行われた  
「ホールイン・ワン」チャレンジ



# キラリ輝く むらびと

農業 / 消防団 F・R・S 班

つづき

都筑ハナメルさん

(戸室地区)

問 日本に来たきっかけは？

父が日系ブラジル人で、「子どもたちに良い教育を受けさせたい、日本で暮らしたい」という夢がありました。

私は中学1年生の時に群馬に来ましたが、日本語が全くわからず苦勞しました。

陸上部と日本語教室を両立しながら勉強を続け、樹徳高校へ進学。その後、日本工学院八王子専門学校スポーツトレーナー科を卒業しました。

社会人になりアシックスジャパン（オニツカタイガー）で働いた後、地元へ戻り趣味のアウトドアを通じて夫の徹と出会い結婚し、しばらくは前橋に住んでいました。



問 高山村の印象は？

自然が豊かで、人が温かい。移住は不安もありましたが、今では「ここに来てよかった」と心から思っています。

都筑ハナメルさんから  
メッセージ

家族や仲間の支え、高山村での農業との出会いが今の私をつくりました。自然の中で挑戦し成長できるこの村が若者にとって希望ある場所であり続けるよう、定住や就農を支える取り組みを今後も温かく後押ししていただければ嬉しいです。



問 高山村へ移住したきっかけと現在の生活は？

自然が好きで高山村に憧れがありました。紹介を通じて農業に触れ、惹かれていく中で移住を決断しました。

移住後は義両親の農業や、こんにやく農家さんで修行しながら子育てと両立。現在は義両親が育ててきた“ちぢみほうれん草”の栽培を受け継ぎ、私自身の畑でも育てています。子育てが落ち着いたら、新しい野菜にも挑戦したいと思っています。



問 消防団に入った理由は？

消防団で活躍する夫の姿に影響を受けました。寒い日も村のために働く姿を見て、私も「女性ならではのサポートで地域の力になりたい」と思い、F・R・S班に入団しました。防災訓練やサポート活動を通して安心して暮らせる村づくりに関わりたいです。

特集

定例会

一般質問

委員会

議会の動き

むらびと

## 定例会のお知らせ

### 令和8年第1回定例会 (本会議の予定)

初 日 2月25日(水) 午前10時～

一般質問 初日に予定しておりますが、

変更となる場合があります。

最 終 日 3月10日(火) 午前10時～

### ◇議会を傍聴してみませんか◇

傍聴席の出入りは自由で、本会議中でも入退室ができます。(定員18名/先着順)

最新情報は、議会ホームページにてお知らせしています。スマートフォン等からは表紙の二次元コードからどうぞ。



## 広報委員の取材日記

同じ高山村に暮らす女性として、F・R・S班の一人に話を聞きました。農業や仕事、家庭と向き合いながら、地域防災に関わる姿は、その人ひとりのものではなく、団全体に共通する日常です。

発足したばかりのF・R・S班は、来年の10月に全国女性消防操法大会出場を控え、歩みを始めたところです。国では高市政権が発足し、女性が責任ある立場で活躍する時代がやってきました。

村の現場でも、仲間と支え合う女性たちの力が、静かに地域を守り始めています。



## ご意見・ご要望などはこちらから

今回発行の97号についての感想や、今後、議会広報の特集で取り上げてほしい内容などございましたら二次元コードを読み込んで「専用入力フォーム」よりお送りください。このほか、FAX・Eメールなどでもお待ちしております。

今号についての意見募集は、令和8年2月28日(二次元コード有効期限)までとなります。



Vill-Takayama Council NEWS TsuNaGu

議会広報つなぐ vol.97

2026(令和8)年2月1日 発行 通算97号

発行：群馬県高山村議会 編集：議会広報編集特別委員会 発行責任者：議長 後藤 明宏

〒377-0792 群馬県吾妻郡高山村大字中山2856-1 Tel 0279-63-2111(代) FAX0279-63-2768

[群馬県高山村議会]で[検索] E-mail info@vill.takayama.gunma.jp